

NETIS登録番号	技術名称	カサロック				
QS-090018-A	副題	L型擁壁嵩上げ用ブロック				
分類1	共通工	擁壁工	プレキャスト擁壁工	キーワード:安全・安心、公共工事の品質確保・向上		
分類2	建築	コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事				
開発目標	省人化、安全性の向上、作業環境の向上					
技術の位置付け	<input type="checkbox"/> 推奨技術 <input type="checkbox"/> 準推奨技術 <input type="checkbox"/> 活用促進技術 <input type="checkbox"/> 設計比較対象技術 <input type="checkbox"/> 少実績優良技術					
特許	<input checked="" type="checkbox"/> 有り (特許番号:第4933489号) <input type="checkbox"/> なし					
技術賞、審査証明等	<input type="checkbox"/> ものづくり日本大賞 <input type="checkbox"/> 国土技術開発賞 <input type="checkbox"/> 学会賞 <input type="checkbox"/> 建設技術審査証明					
問合せ先	会社名	インフラテック株式会社			TEL	050-3085-9434
	住所	鹿児島県鹿児島市与次郎2-7-25			E-MAIL	moriyama@infratec.co.jp
	担当者	森山 典明				
実績件数 H26.7.31現在	国土交通省	その他の公共機関		民間等		
	40件	140件		15件		

技術概要:(300字以内)

- ①何について何をする技術なのか?  
L型擁壁など擁壁工の天端高さや勾配の調整を行うためのコンクリート二次製品(高強度繊維強化セメント製)。  
製品を嵩上げ高さに合わせ切断し、ボルトで固定する施工なので、現場打ち工法の型枠設置・撤去・コンクリート打設・養生作業が不要。
- ②従来はどのような技術で対応していたのか?  
L型擁壁を敷設後、差筋(鉄筋)を配筋し前面・背面の両側に型枠を組み、コンクリートを打設する事で天端勾配高さ調整部分を形成していた。
- ③公共工事のどこに適用できるのか?  
車道や歩道など一般道路に設置する擁壁工などの天端部分の形成に使用。

■新規性及び期待される効果

- ①どこに新規性があるのか?(従来技術と比較して何を改善したのか?)  
・L型擁壁の勾配高さ調整部分を二次製品化(高強度繊維強化セメント製)することで、従来の現場打ち工法で行っていた型枠設置・撤去・コンクリート打設・養生作業を不要とした。
- ②期待される効果は?(新技術活用のメリットは?)  
・型枠の設置、撤去、コンクリート打設、養生が不要で、製品設置後、即埋め戻しが可能となり大幅な工期短縮が可能です。  
・L型擁壁の背面側で作業を行うので前面側に足場を組む必要が無く安全に作業を行う事ができます。

■適用範囲

- ①適用可能な範囲  
・上載荷重:10kN/m<sup>2</sup>(T-25)  
・適用(調整)高さ、縦断勾配 250型:100mm~250mm、15%以下(高低差150mm以下)  
400型:100mm~400mm、30%以下(高低差300mm以下)

■留意事項

- ①設計時  
・適用(調整)最低高さ100mmを確保  
・縦断勾配の確認  
・ガードレール設置に関しては別途検討とする
- ②施工時  
・カサロックを持ち上げる際はバイスなど吊り器具を使用  
・製品を投げたり、直接たたいたりと乱暴に扱わない  
・埋戻しや道路舗装の際製品に衝撃を与えないこと

■施工単価

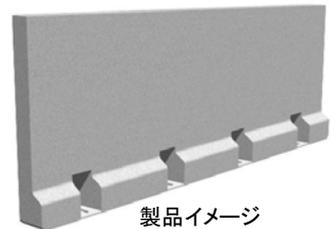
製品価格(平成20年度九州地区) 250型:5,000円/m、400型:7,700円/m  
※運賃は別途費用が掛かります。(運賃については距離によって変動します。)

カサロック10.0m当りの費用(嵩上げ高さ250mm、平成20年度鹿児島県の場合)

項目	仕様	数量	単位	単価	金額	摘要
カサロック	250型、ボルト、座金、止水テープ含む	10	m	5,000	50,000	鹿児島市内の場合
ガラ処理費用		0.02	m <sup>3</sup>	5,261	105	
世話役		0.05	人	20,000	1,000	
普通作業員		0.43	人	13,300	5,719	
諸雑費	切断、モルタル費含む	1	式	1,344	1,344	
合計					58,168	
1.0m当り単価					5,817	

■施工方法

- ①カサロックをL型擁壁に仮留めし、墨出し(高さの決定)を行います。
- ②カサロックの下に角材等を水平になるように敷き、エンジンカッターで前面側から切断します。
- ③L型擁壁にカサロックを据え、付属のボルト・座金を使用しラチェット等で締め付けて固定します。
- ④切断面をサンダー等で仕上げます。
- ⑤、⑥カサロック同士、カサロックとL型擁壁の接合部(背面側)に付属の止水テープを貼り、ボルト固定部分をモルタルで埋めます。その後、L型擁壁の埋戻しと同様に、プレートランマーで締固めます。



製品イメージ



施工現場(鹿児島市)



施工現場(鹿児島市)

